

医学部専門予備校 クエスト 解答速報

日本医科大学 (後期) 英語 試験日 3月1日 (水)



<講評> 前期と分量、難易度、問題形式ともにほぼ変わらないので、受験生は取り組みやすかったと思われる。従って、細かな減点、高い配点から当然なされてくるので、いかに正確な答案を作成出来たかが合否のポイントになるだろう。

- 問1 (1) C (2) e
問2 b, c, d
問3 (1) a (2) b
問4 (1) C (2) a
問5 (1) d (2) e
問6 (1) C (2) b
問7 (1) d (2) C
問8 (1) a, on (2) C, most
(3) a, came (4) b, medicine
(5) d, inherent

② 問1 (1) *separating* (2) *continue* (3) *caring*

(4) *growing* (5) *include* (6) *diminishes*

問2 第6段落：最終文に示されている、学校で全生徒に対して体育の授業を毎日行うべきだということ。

問3 第5段落：身体的アイデンティティとも呼ぶべきもので、動いたり、探険したり、自然界に反応するといった生まれながらに人間に備わっているもの。

問4 著者を含めて医師たちは、人々の健康を維持するために、人間に古代から変わらずに備わっている、動き回るという身体のしくみや本能に注意を向けてこなかったということ。

問5 い、第8段落で高校までには大多数の子供たちが、組織化されたスポーツの参加を終えてしまうとの記述あり。

え、第8段落で、学校の体育の授業には14%しか割かれていないとの記述あり。

問6 a, b, d

問7 c, d

問8 d

問9 b

問10 a

問11 c

問12 b

問13 d

問14 a

③ The author argues that play is an activity we ourselves choose to be involved in, and it serves to nurture our physical, cognitive, and social skills.

I think my "physical identity" has been developed to a higher degree than others, because I have always run around since my childhood, and especially I like running. Even now I often run on my way to almost every place in spite of myself. I can say running is already my routine, and thanks to this habit, I seldom catch a cold.